

この添付文書をよく読んでから使用してください。

体外診断用医薬品

※※2015年3月改訂（第6版）

※2013年2月改訂（第5版）

承認番号 16200AMY00197000

品番 **20 600**

培養同定・一般細菌キット

アピストレップ20

(API 20 Strep)

レンサ球菌及び関連菌同定用

【全般的な注意】

- 本品は、体外診断用であり診断以外の目的に使用しないで下さい。
- 診断は他の関連する検査結果や臨床症状等に基づいて総合的に判断して下さい。
- 添付文書以外での使用方法については保証致しません。
- 使用する機器の添付文書等をよく読んでから使用して下さい。

【形状・構造等（キットの構成）】

＜構成試薬の名称＞

1. アピストレップ20 プレート（基質）の成分

	基質	略号
(1)	ピルビン酸ナトリウム	VP
(2)	馬尿酸ナトリウム	HIP
(3)	エスクリン	ESC
(4)	ピロリドニル-2-ナフチルアミド	PYRA
(5)	6-ブロモ-2-ナフチル- α -D-ガラクトピラノシド	α GAL
(6)	ナフトール AS-BI β -D-グルクロン酸	β GUR
(7)	2-ナフチル- β -D-ガラクトピラノシド	β GAL
(8)	2-ナフチル-リン酸ナトリウム	PAL
(9)	L-ロイシン-2-ナフチルアミド	LAP
(10)	L-アルギニン	ADH
(11)	D-リボース	RIB
(12)	L-アラビノース	ARA
(13)	D-マンニトール	MAN
(14)	D-ソルビトール	SOR
(15)	乳糖	LAC

(16)	D-トレハロース	TRE
(17)	イヌリン	INU
(18)	D-ラフィノース	RAF
(19)	でんぷん	AMD
(20)	グリコーゲン	GLYG

2. GP培地

組成

- －L-シスチン
- －トリプトン（ウシ/ブタ由来）
- －塩化ナトリウム
- －亜硫酸ナトリウム
- －フェノールレッド

脱イオン水で1000 mLになるように調製

pH：7.4－7.6

<付属品>

- | | |
|---------|-----|
| －培養容器 | 25組 |
| －成績記入用紙 | 25枚 |

【使用目的】

レンサ球菌の同定

【測定原理】

<原理>

アピストレップ20は酵素活性もしくは糖の発酵を検出するための乾燥基質を含む20のマイクロチューブで構成されています。

酵素活性は、単一コロニーより調製した濃厚な菌液で乾燥基質を溶解することにより検出します。培養中に基質が代謝されることにより色が変化します。色の変化は自発的または添加試薬を加えることにより起こります。

発酵試験は、富栄養培地で調製された菌液を接種し、糖の乾燥基質を溶解します。

糖発酵能は、pH指示薬の変化によって検出します。反応は、判定表に従って判定し、同定は同定ソフトウェアを利用し行います。

<特徴>

アピストレップ20はレンサ球菌、腸球菌及び関連菌のための標準化された同定システムで、20種類の生化学性状試験及び専門データベースで構成されています。本同定システムの同定可能菌種は、本添付文書の最後にある“陽性率表”に示されています。

【操作上の注意】

- 検体（採取及び前処理）
臨床材料や他の検体を直接使用してアピストレップ20で試験することはできません。
試験に使用する菌株は、通常の細菌検査法に従って適切な培地で分離培養する必要があります。
- アピストレップ20は、専用データベースに含まれている菌株の同定のみを行います（本添付文書最後の“陽性率表”を参照して下さい）。データベースに含まれない菌株の同定やデータベースに含まれていない菌株であることを確認する目的には使用できません。
- 単一分離菌から得られた純培養のみを使用して下さい。

【用法・用量（操作方法）】

＜試薬の調製方法＞

- NIN試薬はキャップを注意してはずし、乾燥ピペットを用いて、アンプル中の試薬をすべて滴ビンに移し入れて下さい。
- VP1、VP2、ZYM A 及びZYM B試薬はアンプルを転倒し垂直に保ち、試薬をすべて滴ビンに移し入れて下さい。または、乾燥ピペットを用いて、試薬をすべて滴ビンに移し入れて下さい。添加試薬は、暗所に2～8℃で保存（ZYM A試薬及びVP1試薬は2～30℃で保存）して下さい。使用期限は、外箱の☒マークに記載してあります。なお、開封後は、1ヶ月以内に使用して下さい。滴ビンに移し替えた試薬は、移し替えた日付を滴ビンに記入し、1ヶ月以内に使用して下さい。
- NIN試薬及びZYM B試薬は光に非常に敏感なので、アルミホイルに包んで冷暗所に保存し、使用時にのみ冷蔵庫から取り出し、すぐに戻して下さい。長時間、これらの試薬を試験室内に放置しないで下さい。
- NIN試薬は空気及び微量の水分に非常に過敏なので、乾燥したピペットを用いて滴ビンに移し替え、滴ビンはしっかり栓をして保存して下さい。
- ZYM A試薬は2～8℃で保存中に沈殿を生じることがありますが、性能に影響はありません。このような場合、試験室内に放置して、沈殿が消失してから使用して下さい。
- ZYM B試薬は通常黄色ですが、劣化すると、ピンク色に変色する場合があります。変色したものは使用しないで下さい（ZYM B試薬は約1時間の光への暴露で劣化することがあります）。
- ※ ● ZYM B試薬の有効性を確認するために、本添加試薬を調製後最初に使用する際は、アンプル毎に品質管理試験を行ってください。品質管理試験菌株は、品質管理の項目に記載の *Streptococcus equi* ssp. *zooeidemicus* ATCC®700400™を用いることをお勧めします。

※※＜必要な器具・器材・試料等＞

本品を使用の際に必要な試薬及び器具
試薬／器具

- －サスペンションメディウム2 mL (品番 70700)
- －NIN試薬 (品番 70491)
- －VP 1 + 2試薬 (品番70422)
- －ZYMA試薬 (品番 70494)
- －ZYM B試薬 (品番 70493)
- －ミネラルオイル (品番 70100)
- －マクファーランドスタンダード (品番 70900) 濁度4 またはデンシマット (品番 99234)
- －APIWEB® 同定ソフトウェア (品番 40011) (バイオメリュー製品)
- －コロンビア5%ヒツジ血液寒天培地 (品番 43041)
- －シェドラーブイヨン

器具

- －滅菌綿棒 (品番 70610)
- －アビペット (品番 70250)
- －アンプル立て (品番 70200)
- －アンプルプロテクター (品番 70901)
- －嫌気ジャー
- －微生物試験用実験器具類

<測定 (操作) 法>

コロニーの選択

同定用菌株がレンサ球菌であることを確認します (グラム染色、カタラーゼ試験)。

- 溶血性を21番目の試験項目として成績記入用紙に記録して下さい。
- よく分離したコロニーを釣菌し (注意 1)、0.3 mL滅菌精製水に懸濁し、よく攪拌して下さい。
- 上記の菌液をコロンビアヒツジ血液寒天培地に流し入れるか滅菌綿棒で培地の表面全体に塗り広げて下さい。
- 嫌気条件下で $36^{\circ}\text{C} \pm 2^{\circ}\text{C}$ 、24 (± 2) 時間培養して下さい。

注意 1 : β 溶血レンサ球菌及び腸球菌は24時間培養後大きなコロニーを形成します。それ以外のレンサ球菌は48時間培養後、釣菌することをお勧めします。栄養要求性の厳しい菌 (48時間培養後小さなコロニーを形成します) は下記の培養方法をお勧めします。

- －1mL シェドラーブイヨンに菌を接種し、 $36^{\circ}\text{C} \pm 2^{\circ}\text{C}$ 、5時間培養して下さい。
- －菌液全量をコロンビアヒツジ血液寒天培地に流し入れて下さい。過剰な溶液は取り除いて下さい。
- －嫌気条件下で $36^{\circ}\text{C} \pm 2^{\circ}\text{C}$ 、18-24時間培養して下さい。

注意 2 : 肺炎球菌が疑われる場合は十分な菌量を得るために、寒天培地を 2 枚培養することをお勧めします。

プレートの準備

- 培養容器（トレイ及び蓋）を準備し、約5 mLの蒸留水または脱イオン水（またはCl₂、CO₂などのガスを放出する可能性のある添加物や化合物を含有しない水）を凹凸のあるトレイに入れて、湿潤環境を作ります。
- トレイのフラップ部分に、試験に用いる菌株の情報（検体番号等）を記載します（操作中に蓋がプレート間で入れ替わる危険があるため、蓋に記入することは避けて下さい）。
- 包装を開封してプレートを取り出します。
- プレートを培養容器に入れます。

菌液の調製

- 本添付文書中の“使用上または取扱い上の注意”で指示されている方法でサスペンションメディア2 mLのアンブルを開けます。添加物を含まない滅菌精製水2 mLが入った試験管を使用することもできます。
- 滅菌綿棒を使用し、前培養した培地から全てのコロニーをかきとります。
- マクファーランド濁度 4 以上の濃い菌液を作成し、直ちに使用して下さい。

プレートへの菌液接種

- プレートの前半（VPからADH）まで菌液を接種して下さい。チューブ底部に気泡が形成されるのを避けるため、プレートを僅かに前方に傾けて、アビピペットの先をカップの側面につけて操作します：
－VP から LAPまではそれぞれのカップに約100 μ Lずつ分注します。
－ADH はチューブのみに分注します。
- プレートの残りの半分(RIB～GLYG)は：
－本添付文書中の“使用上または取り扱い上の注意”に従いGP培地を開けて、菌液の残り（0.5 mL）を入れ、よく混和して下さい。
－新しく作成した菌液はチューブのみに分注して下さい。
- 下線の付いたADH～GLYGには凸面状になるまでミネラルオイルを滴下して下さい。
- 培養容器に蓋をします。
- 好気条件下36 $\pm$ 2 $^{\circ}$ Cで培養して下さい。4～4時間半培養後に一次判定をして下さい。必要に応じて、24 ($\pm$ 2) 時間後に二次判定をして下さい。

【測定結果の判定法】

プレートの判定

培養 4 時間後：

- 添加試薬の添加：
－VP 試験：VP 1試薬と VP 2試薬をそれぞれ 1 滴ずつ滴下して下さい。
－HIP 試験：NIN試薬を 2 滴滴下して下さい。
－PYRA, α GAL, β GUR, β GAL, PAL 及び LAP試験：
ZYMA試薬及び ZYM B試薬をそれぞれ 1 滴ずつ滴下して下さい。

- 10分間後、判定表を参照して反応の読み取りをして下さい。必要に応じて、PYRA～ LAPの過剰反応を脱色するために、プレートを強い光（1000Wランプ、10分間）に暴露して下さい。

下記の結果の場合には再培養が必要になります：

- low discrimination ；
- unacceptable or doubtful profile ；
- 下記の注釈が示されたプロファイルの場合：

IDENTIFICATION NOT VALID

BEFORE 24 HOURS OF INCUBATION

この場合は、24時間後にESC、ADH、及び RIB～GLYGの再判定を行なって下さい。酵素反応（HIP、PYRA、 α GAL、 β GUR、 β GAL、PAL、LAP）及びVPの再判定は行なわないで下さい。及び全ての結果を成績記入用紙に記入して下さい。

解析

同定はプロファイル番号を用いて行ないます。

- プロファイル番号の決定：

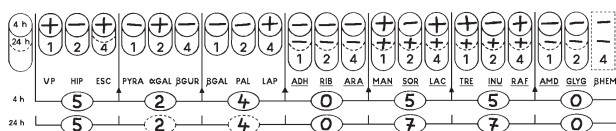
成績記入用紙上で、各試験項目は3つずつのグループに分けられ、各項目に1, 2, 4の数値が与えられています。グループごとに陽性反応を示した数値が加算され、7桁のプロファイル番号が得られます。

※※ 同定：

— 専用データベース（V 8.0）を利用して実施します。

* APIWEB®同定ソフトウェアを用いる場合：

— コンピュータのキーボードを使って7桁のプロファイル番号を入力します。



5 240 550 / 5 240 770 *Streptococcus mutans*

注意：溶血反応結果は21番目の項目として記入します。β-溶血は陽性と判定し、数値4を記入します。それ以外の溶血反応は陰性と判定し、数値0を記入します。この試験は特定の菌種の同定に有用な場合があります。

※■品質管理

本培地、プレート及び試薬は、各製造工程において体系的に品質管理が行われています。合理化した品質管理は、輸送/保管後にアピストレップ20の性能を確認するために用いられます。本法は、添付文書の測定法に準じて実施され、またCLSI® M50-A Quality Control for Commercial Microbial Identification Systemsの基準を満たしています。ARAの性能評価には*Streptococcus equi* spp *zooepidemicus* ATCC® 700400™ が用いられます。バイオメリュー社により実施された試験では、ARAがアピストレップ20を評価をする上で最も信頼性が高い項目であることが確認されています。

本試薬を用いる際には*Streptococcus equi* spp *zooepidemicus* ATCC® 700400™ を試薬劣化の確認のために使用することができます。

プレートの広範囲の品質管理試験を実施する場合は、下記の2種類の試験菌株を用い、アピストレップ20試験項目の陽性および陰性反応を確認して下さい。

1. *Streptococcus equi* spp *zooepidemicus* ATCC® 700400™

2. *Streptococcus uberis* ATCC® 700407™

ATCC : American Type Culture Collection, 10801 University Boulevard, Manassas, VA 20110-2209, USA.

	VP	HIP	ESC	PYRA	αGAL	βGUR	βGAL	PAL	LAP	ADH	RIB	ARA	MAN	SOR	LAC	TRE	INU	RAF	AMD	GLY
1.	—	—	—	—	—	+	—	+	+	+	+	—	—	+	+	—	—	—	+	+
2.	+	+	+	V	V	+	—	—*	+	+	+	—	+	+	+	+	+	+	—	—

*本結果は使用する培地により異なります。

- 接種菌液はデンシマットを用いマクファーランド4.5～5.5に調製しました。
- 上記プロファイル VP～LAPは4時間培養後に結果判定しました。
—ADH～GLYGは24時間培養後に結果判定しました。
- コロンビアヒツジ血液寒天培地で培養したコロニーを用いました。
- 各国の定める規則に従って、本キット使用者の責任のもとで品質管理を実施して下さい。

【性能】

- 感度・正確性
標準試験菌株を用いて、「用法・用量（操作方法）」欄に記載の方法に従って試験するとき、その同定結果は、用いた標準試験菌株の菌種名と一致します。
- 同時再現性
標準試験菌株を用いて、「用法・用量（操作方法）」欄に記載の方法に従って3回同時に試験をするとき、同定結果は3回とも用いた標準試験菌株の菌種名と一致します。
- 測定範囲
本品の使用は、データベースに含まれているレンサ球菌の同定に限られます。

※※＜相関＞

- 4時間培養後：
本データベースに属する保存菌株及び各種材料由来の菌株1,821株が検討されました：
—86.2%の菌株が正確に同定されました（追加試験を含む）。
—6.3%の菌株は同定不能でした。
—7.5%の菌株は誤同定でした。
- 24時間培養後：
本データベースに属する保存菌株及び各種材料由来の菌株2,974株が検討されました：
—93.3%の菌株が正確に同定されました（追加試験を含む）。
—3.4%の菌株は同定不能でした。
—3.2%の菌株は誤同定でした。

【使用上または取扱い上の注意】

＜取扱い上（危険防止）の注意＞

- 体外診断用医薬品及び微生物制御検査用
- 微生物検査従事者が使用して下さい。
- 本キットには動物由来製品が含まれます。使用動物の由来や衛生状態は保証されていますが、これは感染性病原体による製品汚染がないことを完全に保証するものではありません。従ってこれらの製品は感染性を有するものとして扱い、飲んだり吸い込んだりしないよう、通常の安全予防策を守って取り扱うことをお勧めします。
- ※ 検査材料、細菌培養、及び接種菌液はすべて感染性があるものとして、適切に取り扱う必要があります。検査全体を通じて、細菌を扱う際には無菌操作の実施と通常の注意を払う必要があります。この件に関しては、“CLSI® M29-A, *Protection of Laboratory Workers From Occupationally Acquired Infections; Approved Guideline - Current revision*”を参照して下さい。取扱い上の注意の追加情報としては、“Biosafety in Microbiological and Biomedical Laboratories - CDC/NIH - Latest edition”または各国で現在使用されている規程に準拠して下さい。

＜使用上の注意＞

- 使用期限を過ぎた試薬は使用しないで下さい。
- 使用する前に、各種検査用試薬の包装に破損がないことを確認して下さい。
- カップの変形や乾燥剤の袋の破損などが見られるものは使用しないで下さい。
- 以下の手順に従い、注意してアンプルを開けて下さい。
 - －アンプルをアンプルプロテクターに差し込んで下さい。アンプルプロテクターに入ったアンプルを片手で垂直に持って下さい（白色プラスチックキャップが上になるように立てます）。キャップをできる限り下向に押します。
 - －キャップの溝面部分に親指を置き、前に押出してアンプル先端部を折ります。
 - －アンプルをアンプルプロテクターから取り出し、次の使用のため近くに置きます。
 - －キャップを注意深く取り除きます。
- 添付文書に示されている関連データは、本書に記載された操作方法を用いて得られたものです。方法の変更や修正は、同定結果に影響する可能性があります。
- 試験結果の解釈は、患者の病歴、検査材料の由来、分離菌株のコロニー形態や鏡検像及び、もし必要となった際に実施される他の検査結果（特に薬剤感受性パターンの結果）を考慮して行う必要があります。
- 期待値結果の範囲
各種生化学性反応の期待値結果の範囲については本添付文書の最後に記載されている“陽性率表”を参照して下さい。



<廃棄上の注意>

使用後試薬、未使用試薬及び汚染された器具類は、感染の危険性があるものとして適切に廃棄して下さい。廃棄物や廃液の取扱いは、その種類や危険度に応じて適切な規程の元に各施設で責任を持って処理及び廃棄（外部専門業者に処理及び廃棄依頼）を行って下さい。

【貯蔵方法・有効期間】

アピストレップ20プレートとGP培地は、包装に表示されている使用期限まで2～8℃で保存して下さい。有効期間は1年です。使用期限は、プレートのパッケージおよび外箱の☒マークに記載してあります。

【包装単位】

25回用

※【主要文献】

1. APPELBAUM P.C., CHAURUSHIYA P.S., JACOBS M.R., DUFFETTA. Evaluation of the Rapid Strep System for Species Identification of Streptococci. (1984) J. Clin. Microbiol., 19, 588-591.
2. BALL L.C., COLMAN G. A Comparison of Conventional Methods and API Galleries for the Identification of Streptococci. (1982) International Meeting on Streptococci and Streptococcal Diseases, LUND SWEDEN, 41-42.
3. BANNISTER M.F., BENSON C.E. and SWEENEY C.R. Rapid Species Identification of Group C Streptococci Isolated from Horses. (1985) J. Clin. Microbiol., 21, 524-526.
4. COLMAN G., BALL L.C. Identification of Streptococci in a Medical Laboratory. (1984) J. Appl. Bact., 57, 1-14.
5. FACKLAM R.R., RHODEN D.L., SMITH P.B. Evaluation of the Rapid Strep System for the Identification of Clinical Isolates of *Streptococcus* Species. (1984) J. Clin. Microbiol., 20, 894-898.
6. HUMAN R.P. and TILLOTSON G.S. Identification of *Gardnerella vaginalis* with the API 20 Strep System. (1985) J. Clin. Microbiol., 21, 985-986.
7. KLOOSTERMAN R.E., CULLEN K.D., McCLATCHEY K.D. Comparison of Two Commercial Systems for the Rapid Identification of Streptococci. (1984) ASM ST. LOUIS C198.
8. MacGOWAN A.P., MARSHALL R.J., REEVES D.S. Evaluation of API 20 STREP System for Identifying *Listeria* Species. (1989) J. Clin. Path., 42, 548-550.
9. RUOFF K.L., KUNZ L.J. Use of the Rapid STREP System for Identification of Viridans Streptococcal Species. (1983) J. Clin. Microbiol., 18, 1138-1140.
10. TILLOTSON G.S. An Evaluation of the API 20 Strep System. (1982) J. Clin. Path., 468-472.
11. Clinical and Laboratory Standards Institute, M50-A Quality Control for Commercial Microbial Identification Systems; Approved Guideline, Vol. 28 n° 23.

【問い合わせ先】

シスメックス株式会社 CSセンター

〒651-2241 神戸市西区室谷1丁目3番地の2

TEL 0120-265-034

シスメックス・バイオメリユー株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目2番2号 大崎セントラルタワー 8階

TEL 03-6834-2666 (代表)

【製造販売業者の氏名または名称及び住所】

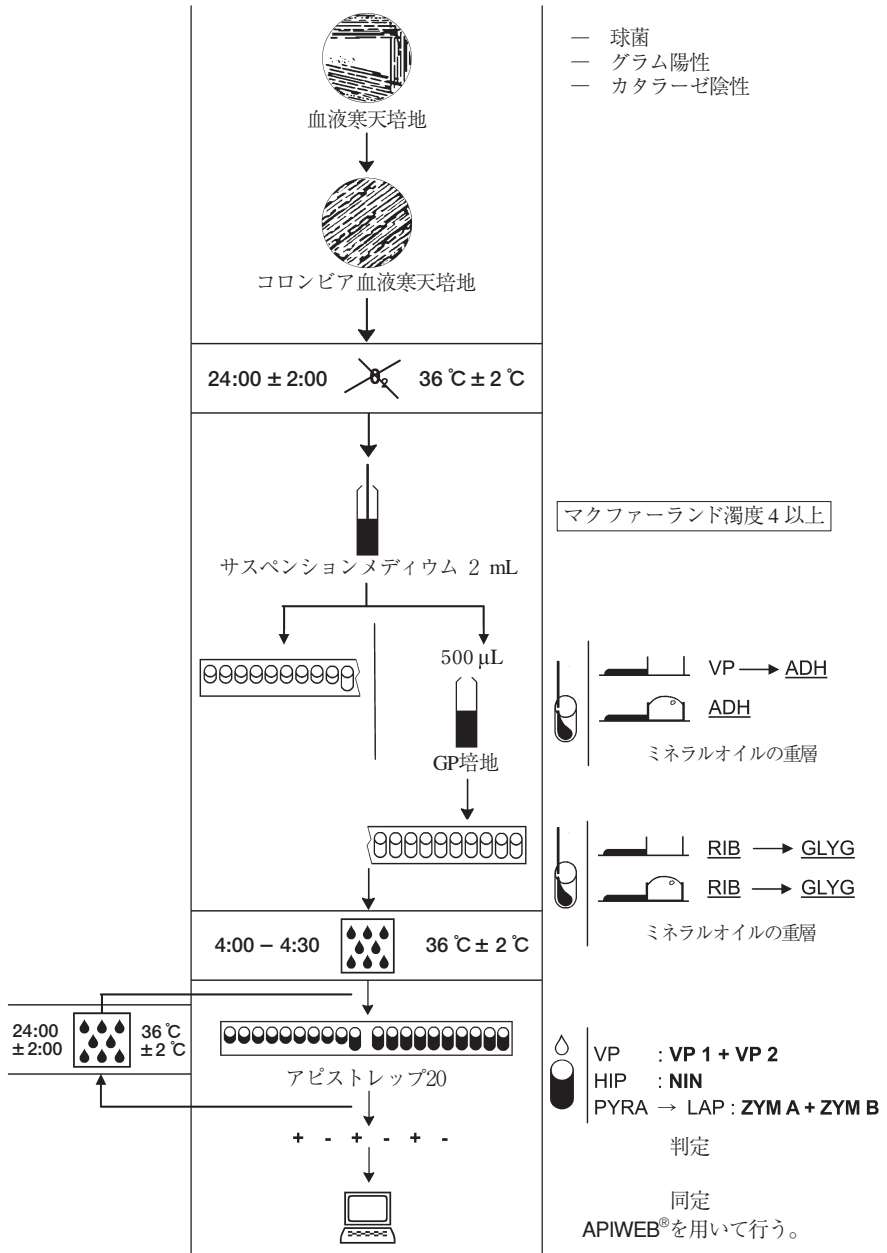
シスメックス・バイオメリユー株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目2番2号 大崎セントラルタワー 8階

※※ * 本添付文書は、下記 Web サイトからダウンロードできます。

<http://products.sysmex-biomerieux.net/>

操作手順



■判定表

テスト項目	基質	反応/ 酵素	成績			
			陰性		陽性	
VP	ピルビン酸ナトリウム	アセトイン産生(VP)	VP1 + VP2 / 10分後に判定 (3)			
			無色		ピンク色～赤色	
HIP	馬尿酸ナトリウム	加水分解 (馬尿酸)	NIN / 10分後に判定			
			無色/淡い青色 青みがかった灰色		暗青色/紫色	
ESC	エスクリン	β-グルコシダーゼ加水分解 (エスクリン)	4 時間.	24 時間.	4 時間.	24時間.
			無色 淡い黄色	無色 淡い黄色 明るい灰色	黒色 灰色	黒色
PYRA	ピロリドニル-2-ナフチルアミド	ピロリドニルアリルアミダーゼ	ZYMA + ZYMB / 10分後に判定 (PYRA から LAP) (1)必要に応じて、強い光をあて、脱色して下さい。 無色もしくは極淡オレンジ色			
αGAL	6-プロモ-2-ナフチル-α-D-ガラクトピラノシド	α-ガラクトシダーゼ	無色		紫色	
βGUR	ナフトール-AS-BI β-D-グルクロン酸	β-グルクロニダーゼ	無色		青色	
βGAL	2-ナフチル-β-Dガラクトピラノシド	β-ガラクトシダーゼ	無色もしくは極淡紫色		紫色	
PAL	2-ナフチル-リン酸ナトリウム	アルカリフォスファターゼ	無色もしくは極淡紫色		紫色	
LAP	L-ロイシン-2-ナフチルアミド	ロイシナーミナーゼ	無色		オレンジ色	
ADH	L-アルギニン	アルギニンヒドロラーゼ	黄色		赤色	
RIB	D-リボース	酸性化 (リボース)	4時間.	24時間.	4時間.	24 時間.
			赤色	オレンジ色/赤色	オレンジ色/黄色	黄色
ARA	L-アラビノース	酸性化 (アラビノース)	赤色	オレンジ色/赤色	オレンジ色/黄色	黄色
MAN	D-マンニトール	酸性化 (マンニトール)	赤色	オレンジ色/赤色	オレンジ色/黄色	黄色
SOR	D-ソルビトール	酸性化 (ソルビトール)	赤色	オレンジ色/赤色	オレンジ色/黄色	黄色
LAC	乳糖 (ウシ由来)	酸性化 (ラクトース)	赤色	オレンジ色/赤色	オレンジ色/黄色	黄色
TRE	D-トレハロース	酸性化 (トレハロース)	赤色	オレンジ色/赤色	オレンジ色/黄色	黄色
INU	イヌリン	酸性化 (イヌリン)	赤色	オレンジ色/赤色	オレンジ色/黄色	黄色
RAF	D-ラフィノース	酸性化 (ラフィノース)	赤色	オレンジ色/赤色	オレンジ色/黄色	黄色
AMD	でんぷん (2)	酸性化 (アミドン)	赤色	オレンジ色/赤色	オレンジ色/黄色	黄色
GLYG	グリコーゲン	酸性化(グリコーゲン)	赤色もしくはオレンジ色		明るい黄色	

(1) 24 時間培養後の 2 次判定時、ZYMA 及び ZYMB 試薬添加チューブ中に沈殿物が出現することがあります。この現象は正常であるため考慮に入れないで下さい。

(2) でんぶんの酸化は他の糖の酸化よりもしばしば反応性が弱いことがあります。

(3) 10 分後に淡いピンク色がみられた場合は陰性と判定して下さい。

陽性率表（36±2℃、4／24時間培養、単位％）

※※	API® 20 Strep	V8.0	VP	HIP	ESC	PYRA	αGAL	βGUR	βGAL	PAL	LAP	ADH	RIB	ARA	MAN	SOR	LAC
	<i>Abio.defectiva</i>	25	0	15	99	100	0	100	0	92	0	0	0	0	0	0	98
	<i>Aerc.urinae</i>	3	99	24	12	0	52	41	50	92	28	28	0	32	13	56	
	<i>Aerc.viridans 1</i>	13	50	96	54	33	16	37	1	5	1	83	33	85	70	83	
	<i>Aerc.viridans 2</i>	15	70	50	76	10	20	25	1	5	5	25	1	35	2	70	
	<i>Aerc.viridans 3</i>	22	88	99	40	85	48	14	14	1	1	8	2	82	5	91	
	<i>Allolococcus otitis</i>	0	25	0	100	0	3	100	1	90	0	0	0	0	0	0	0
	<i>Enter.avium</i>	99	60	99	94	15	0	24	1	99	0	99	40	100	95	95	
	<i>Enter.durans</i>	100	43	99	97	32	2	76	1	91	99	99	15	2	0	84	
	<i>Enter.faecalis</i>	99	46	99	97	1	1	21	4	99	92	98	1	98	92	92	
	<i>Enter.faecium</i>	94	43	99	95	42	1	89	1	97	93	85	70	78	18	84	
	<i>Gardnerel.vaginalis</i>	0	95	0	1	0	1	53	0	99	0	46	6	1	0	1	
	<i>Gem.haemolysans</i>	25	0	0	70	0	0	1	84	40	1	1	0	20	10	5	
	<i>Gem.morbiflorum</i>	3	0	0	35	0	0	10	35	86	4	5	0	1	0	1	
	<i>Globi.sanguinis</i>	4	40	98	40	52	16	100	0	9	0	76	95	71	47	76	
	<i>Granull.adiacens</i>	0	0	10	80	0	25	0	0	99	0	0	0	0	0	0	0
	<i>Lc.lactis cremoris</i>	98	25	41	1	23	0	18	4	88	0	27	0	17	0	97	
	<i>lactis lactis</i>	90	40	99	35	3	0	35	3	96	95	95	15	45	1	72	
	<i>Leuconostoc spp</i>	91	1	60	5	55	0	65	2	70	10	37	35	29	4	35	
	<i>Lc.Listeria spp</i>	97	79	98	0	0	0	0	0	85	0	6	0	0	0	49	
	<i>Str.agalactiae</i>	99	99	1	1	4	79	1	96	99	99	98	0	1	1	50	
	<i>Str.anginosus</i>	100	0	100	0	44	0	1	99	100	100	0	0	33	0	99	
	<i>Str.canis</i>	0	1	25	4	95	1	80	100	100	100	100	0	0	0	99	
	<i>Str.const.const.</i>	98	1	27	0	0	0	5	99	100	100	0	0	0	0	10	
	<i>Str.dys.galactiae</i>	0	0	1	1	1	99	0	100	99	100	99	0	1	50	86	
	<i>Str.dys.equisimilis</i>	0	1	25	1	1	99	1	99	100	97	97	1	1	2	45	
	<i>Str.equi equi</i>	1	0	1	0	0	100	0	100	100	99	0	0	0	0	0	
	<i>Str.equi zoepidem.</i>	0	1	15	0	0	100	1	99	100	99	85	0	0	99	100	
	<i>Str.equinus 1</i>	100	0	95	0	28	0	1	1	100	0	0	0	30	0	25	
	<i>Str.equinus 2</i>	98	1	100	0	97	2	10	0	100	1	1	32	1	1	98	
	<i>Str.gal.galloyticus</i>	99	1	100	1	34	2	1	0	100	0	0	1	97	1	100	
	<i>Str.gal.pasteurianus</i>	100	2	100	0	89	97	99	0	100	0	0	0	0	0	100	
	<i>Str.group L</i>	1	75	1	0	0	100	1	100	100	100	100	0	0	0	75	
	<i>Str.infant.coli</i>	99	1	99	0	99	0	6	0	100	0	0	0	0	0	100	
	<i>Str.infant.infant.</i>	100	0	1	0	58	0	0	0	100	0	0	0	0	0	90	
	<i>Str.intermedius</i>	100	0	87	0	0	0	44	99	100	100	0	0	1	0	99	
	<i>Str.milis 1</i>	1	0	3	2	21	0	25	35	99	19	14	2	0	1	94	
	<i>Str.milis 2</i>	0	0	3	0	31	0	35	50	100	99	1	0	1	0	100	
	<i>Str.mutans</i>	99	0	99	1	64	0	1	1	100	18	0	0	99	90	90	
	<i>Str.oralis</i>	0	0	1	1	50	0	46	72	100	5	1	0	1	0	99	
	<i>Str.pneumoniae</i>	0	0	39	60	70	3	79	3	100	57	4	1	0	0	99	
	<i>Str.porcinus</i>	99	25	99	1	19	99	1	97	97	100	98	0	88	88	83	
	<i>Str.pyogenes</i>	0	1	5	98	0	15	0	100	100	99	0	0	8	1	99	
	<i>Str.sal.salivaris</i>	85	0	98	1	8	0	70	20	100	0	1	0	5	1	86	
	<i>Str.sanguinis</i>	0	1	42	0	63	0	1	5	100	90	0	0	1	48	83	
	<i>Str.suis I</i>	0	1	82	53	80	94	76	1	100	91	0	0	7	0	94	
	<i>Str.suis II</i>	0	1	70	41	91	91	52	3	100	95	0	0	3	1	99	
	<i>Str.uberis</i>	99	98	100	35	10	86	5	30	99	98	99	0	99	98	99	

TRE	INU	RAF	AMD	GLYG	HEM
100	5	92	99	0	0
64	1	1	40	0	0
99	33	41	70	33	1
89	1	5	24	1	5
99	37	99	14	1	1
20	0	0	0	0	0
99	1	40	15	0	1
76	0	1	56	0	18
100	0	1	96	2	1
98	15	10	60	3	1
0	0	0	73	53	0
2	0	0	10	5	1
11	3	1	20	5	0
100	71	95	100	90	0
0	0	0	0	0	0
30	0	15	25	0	0
87	4	5	90	3	1
65	0	42	11	0	0
92	1	1	72	0	26
87	0	1	35	4	75
88	1	44	97	0	37
1	0	1	99	0	100
72	0	0	12	0	61
100	0	1	99	30	2
99	0	1	98	40	94
1	0	0	100	99	100
0	0	0	99	99	99
7	25	15	17	10	0
40	84	99	99	97	0
100	65	98	98	98	1
100	0	72	31	5	0
100	0	0	100	98	94
6	6	100	93	0	0
0	0	97	97	97	0
99	3	3	99	0	40
7	3	26	67	5	0
1	1	31	84	0	0
100	81	81	1	0	1
32	1	72	96	1	0
97	64	87	84	10	1
99	0	0	50	0	99
98	0	1	61	22	98
67	34	88	74	1	1
98	33	55	67	0	0
100	75	0	100	89	0
98	63	93	99	96	2
99	87	10	50	20	0

製造販売元 シスメックス・バイオメリュー株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目2番2号 大崎セントラルタワー8階

